



今年は1ヶ月早く、イチゴの出荷最盛期 到来！ 3月上旬には一日に最高5.2万パック出荷見込み 県内トップクラスの産地・愛知県西尾市で

規模・生産量ともに県内トップクラスを誇る西尾市では、春を迎えて施設栽培イチゴの生産がピークを迎えます。

例年出荷量が最多となるのは3月下旬から4月上旬にかけてですが、今年は育苗時(7月～9月)の高温が影響し前年に比べて1ヶ月ほど前倒しとなり、2月下旬から3月上旬にかけて最盛期を迎えます。



選果・出荷風景
生産者が輪番制で検査しています

出荷場のあぐりセンター小牧では、

この時期、週に6日出荷を行い、多い日には一日約52,000パック(1パック260g)を出荷する見込みです。

■取材対応日■

【日時】

2月26日(水) 午後5時～

【集合】

JA西三河 あぐりセンター小牧
(西尾市吉良町小牧梶見堂35)

※最盛期の為、出荷場での対応のみとさせていただきます
※取材を希望される場合は、JA西三河企画室 尾形までご連絡ください

■作柄■ (2月14日現在)

育苗時の高温が影響し一番果の収量が少なく、二番果の出始めが遅れました。それを取り戻す形で二番果は玉数が多く三番果も続いてくることから、12～1月の出荷量は減少したものの2月下旬から3月上旬にかけての出荷量は前年を上回る見込みです。2月最終週には二番果の収穫ピークと三番果の出始めが重なり出荷量が増えてきます。

今年も4月上旬より 『朝採りイチゴ』を出荷します！

出荷するイチゴの中でも、明け方から収穫したイチゴは「朝採りイチゴ」として出荷し、その日の午前中には西三河地域や名古屋市のスーパーへ並びます。

「朝採りイチゴ」は、5月末まで毎日300～600パックを届けます。



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河 (西三河農業協同組合)

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15

企画室企画課 広報担当: 尾形

TEL: 0563-56-5214 担当者携帯: 070-1414-6818

HP: <https://www.ja-nishimikawa.or.jp/>

Eメール: kikaku@ja-nishimikawa.com

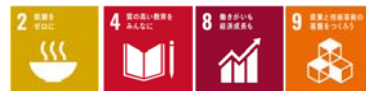


《JA西三河ホームページ》
その他のニュースリリースは
こちらからご確認ください

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関およびJAグループ愛知記者会あてに発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料(ニュースリリース)」ページにも掲載しています。

西尾市のイチゴ生産

～IPMやICT活用し、高品質・安定供給につなぐ～



天敵資材を設置するイチゴ農家

IPM（総合的病害虫管理）技術の実証

JA西三河いちご部会では15名が「バンカーシート」を導入し、農薬（殺虫剤）の利用の抑制とコスト低減・省力化のため、天敵（害虫を捕食する別の虫など）を利用した防除を行っています。イチゴの重要害虫である「ハダニ対策」として、ハダニを捕食する「チリカブリダニ」を導入し、農薬の使用を抑えつつ高品質のイチゴ作りにつなげています。

また、定植前の苗に施す高濃度CO₂処理やUV-Bライトによるハダニ防除の実証試験を進めています。



ICT研究会のようす

最適なハウス環境の構築を目指しています

《導入状況》

環境測定器「あぐりログBOX」58台

食・農クラウド「Akisai(秋彩)」3名

ICTを導入する生産者を対象とした「JA西三河いちご部会ICT研究会」を立ち上げ、蓄積したデータを活用(2016年より)。個人の栽培技術のレベルアップを図り、産地力を向上させています。

—— 産地の維持・拡大に貢献！ ——

施設栽培イチゴの就農支援プロジェクト「いちごスクール」

JA西三河・JAあいち経済連・西尾市・愛知県とJA西三河いちご部会などで組織する「JA西三河いちご産地振興委員会」は、2019年より「いちごスクール」を開校。イチゴ産地の維持発展のため関係機関が一体となり、1年かけて栽培技術等を習得する実務指導から経営研修・農地取得・補助金申請、施設の相談などをセットにイチゴ専業農家を育成しています。

これまでにスクール修了生18人が部会へ加入。
JA西三河いちご部会の平均年齢は3年で4歳若返り、
作付面積・部会員数はともに前年を上回っています。

現在は6期生1人が市内のイチゴ農家のもとで研修に励み、2025年11月頃の本格出荷を目指しています。



イチゴ農家がスクール生を直接指導(定植作業)

【部会情報】

名称：JA西三河いちご部会

部会員数：81人 耕作面積：約17.3㌥ 《高設栽培（約74%）・土耕栽培（約26%）》

出荷品目：章姫、紅ほっぺ、愛さらり

主な出荷先：愛知県・石川県・新潟県

出荷量：935㌥（令和4年度実績、業務用出荷等含む）

収穫期：11月～6月

（全国の生産概況）

全国のイチゴ出荷量：149,900㌥

愛知県のイチゴ出荷量：10,500㌥（東海地方では1位）

データ：農林水産省 作況調査（野菜）令和5年産統計表

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/index.html